

## 奄美群島請島未記録のハムシ科4種

重藤裕彬<sup>1)</sup>・小島弘昭<sup>2)</sup><sup>1)</sup> 〒 901-0235 豊見城市名嘉地 373-2 名嘉地住宅 7-306<sup>2)</sup> 〒 243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室

## New Distributional Records of Four Chrysomelid Beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Uke-jima Is., the Amami Is., Central Ryukyus, Southwestern Japan

Hiroaki SHIGETOH and Hiroaki KOJIMA

Summary. Four chrysomelid beetles in two subfamilies are newly recorded from Uke-jima Is. in the Amami Is., central Ryukyus: 1) *Smaragdina quadratomaculata*, 2) *Cryptocephalus perelegans*, 3) *Hemipyxis foveolata foveolata*, 4) *Nonarthra variabilis*, and the subfamily Cryptocephalinae is recorded from the island for the first time. All species recorded in this report are in common to the main island, Amami-Ōshima, suggesting the similarity of chrysomelid fauna between the two islands. However, it is still insufficient in the status to clarify the fauna since no species of the subfamilies Chrysomelinae and Cassidinae, both of which are diverse on Amami-Ōshima Is., are known from Uke-jima Is., and further investigation is required from now on.

奄美群島の請島（鹿児島県大島郡瀬戸内町）は、奄美大島の南方約 14 km に位置する、面積約 13.34 km<sup>2</sup>、最高標高 400 m、人口 102 人（2017 年 8 月末現在）の小島である。これまで同島からは、4 亜科 12 種のハムシが記録されていて、これらすべての種が近隣の奄美大島にも分布する（中峯, 2006；重藤・吉武, 2018）。また、奄美大島からは約 100 種のハムシが記録されており、両島の自然環境が似ていることから（水田, 2016）、請島にはより多くのハムシ類が生息していると考えられる。

2015 年 3 月 25 日に筆者の一人である小島が請島で実施した野外調査において 7 種のハムシ類が採集された。そのうちクシバアラゲサルハムシ、クロウリハムシ琉球列島亜種およびキベリヒラタノミハムシ基亜種を除く 4 種は、請島における分布記録がないようなので、同島初記録としてここに報告する。今回の報告により、ツツハムシ亜科の種が初めて確認され、請島におけるハムシ類の分

布記録は 5 亜科 16 種となった。しかし、未だに請島におけるハムシ相の解明度は低く、特に奄美群島の他の島々から記録されているハムシ亜科、カメノコハムシ亜科のハムシ類の記録がなく、今後、さらなる調査を行う余地がある。

なお、学名と和名については、木元・滝沢（1994）、滝沢（2007, 2012）、および Lee（2014）に従った。今回の報告に使用した検視標本はすべて重藤が保管している。また、大山への入山および採集は瀬戸内町より許可を得て行った。

## 採集記録

ハムシ科 Chrysomelidae Latreille, 1802

ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae Gyllenhal, 1813

1. アザミナガツツハムシ *Smaragdina quadratomaculata* (Jacoby, 1896)



Figs. 1–4. Newly recorded leaf beetles from Uke-jima Is., the Amami Is., central Ryukyus, southwestern Japan. 1, *Smaragdina quadratomaculata*; 2, *Cryptocephalus perelegans*; 3, *Hemipyxis foveolata foveolata*; 4, *Nonarthra amamiana*.

1 ex., ヘリポート; 2 exs., 大山, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. 本種はこれまで奄美大島および沖縄島からのみ知られていた(滝沢, 2007). 本種ならびに次種は, 請島からは初のツツハムシ亜科の記録となる.

## 2. キボシツツハムシ *Cryptocephalus perelegans* Baly, 1873

2 exs., 大山, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. 本州, 八丈島, 四国, 沖ノ島, 九州, 対馬, 五島列島, 男女群島, 平戸島, 甌島, 種子島, 屋久島, トカラ列島, 口永良部島, 奄美大島, 沖永良部島, 沖縄島, 久米島, 北大東島, 宮古島, 宮古島, 波照間島, 石垣島, 石表島, 与那国島および台湾に分布している(滝沢, 2007; 川畑, 2010). 本種は地域によって色彩の変異が大きく, 研究者によっては, 前胸背板の色彩や鞘翅の斑紋パターンなどにより亜種および変種として扱っている(Chûjô, 1935; Kimoto, 1974).

ノミハムシ亜科 Alticinae Newman, 1835

## 3. キイロミゾアシノミハムシ基亜種 *Hemipyxis foveolata foveolata* (Chûjô, 1958)

3 exs., 池地, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. トカラ列島中之島, 奄美大島, 沖縄島および久米島に分布する(東ら, 2002; 滝沢, 2012). 奄美群島における記録は少なく, 今回の報告は2島目の産地となる.

## 4. カワリヒゲブトノミハムシ *Nonarthra amamiana* Chûjô, 1957

1 ex., 大山, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. これまで, 奄美大島, 沖縄島および北大東島から記録されている(滝沢, 2012; Lee, 2014).

## 引用文献

- 東 清二・屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小濱継雄・佐々木健志・木村正明・川村 太, 2002. 琉球列島産昆虫目録, 594 pp. 沖縄生物学会, 沖縄.
- Chûjô, M., 1935. Chrysomelidae of Loo-Choo Archipelago (I). Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa, 25: 69-89.
- 川畑喜照, 2010. 伊豆諸島八丈島の甲虫 VII. 神奈川虫報, (172): 29-39.
- Kimoto, S., 1974. On some infraspecific variation of chrysomelid beetles (Coleoptera) occurring in the Ryukyu Archipelago. Kontyû, Tokyo, 42: 270-282.
- 本元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539 pp. 東海大学出版, 東京.
- Lee, C.-F., 2014. Review of the genus *Nonarthra* Baly (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae: Alticini) from Taiwan and Japan, with descriptions of two new species. Jpn. J. syst. Ent., 20 (2): 251-263.
- 水田 拓, 2016. 奄美-その自然と概要. 水田 拓 (編著), 奄美群島の自然史学 亜熱帯島嶼の生物多様性: 1-17. 388 pp. 東海大学出版, 東京.
- 中峯浩司, 2006. 奄美群島請島 2004 年 9 月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告, (25): 63-67.
- 重藤裕彬・吉武 啓, 2018. 奄美群島請島において冬季に採集されたハムシ類. さやばねニューシリーズ, (29): 17-19.
- 滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書 (3). 神奈川虫報, (158): 37-48.
- 滝沢春雄, 2012. 日本産ハムシ科生態覚書 (6). 神奈川虫報, (177): 33-51.

(2018年7月26日受領, 2018年8月31日受理)



Villastrigo, A., Jäch, M.A., Cardoso, A., Valladares, L.F. & Ribera, I., 2018. A molecular phylogeny of the tribe Ochthebiini (Coleoptera, Hydraenidae, Ochthebiinae). Systematic Entomology, early view. DOI: 10.1111/syen.12318

セスジダルマガムシ属 *Ochthebius* を中心に分子系統解析が行われた. 日本産種は以下の通りとなった. 特に変更はないが, *Enicocerus*? とされていたグループは真正 *Enicocerus* と異なり *nitidipennis* 種群であることになった (以下, ダルマガムシを略).

*Ochthebius* (*Asiobates*) . . . エゾセスジ  
*Ochthebius* (*Ochthebius*) . . . 残りの種  
*foveolatus* 種群 . . . コセスジ  
*marinus* 種群 . . . ニッポンセスジ  
*nitidipennis* 種群 . . . アマミセスジ, ハセガワダルマ, ホンシュウセスジ, ナカネダルマ  
*punctatus* 種群 . . . セスジ, シオダマリセスジ  
*vandykei* 種群 . . . イセコブセスジ, クロコブセスジ, イズモコブセスジ, セトコブセスジ, キタコブセスジ

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)